



歯の破折と脱臼（脱落・グラグラ）



上顎永久前歯の中程度の破折



神経（歯髄）は出ていないが、放置すると歯髄感染を起こす可能性がある

欠け方が先端で部分的な場合は、痛みなどの症状は出にくく、神経（歯髄）や歯周組織への影響も少ないことが多く、冷水などに感じる程度ならば、一般的に緊急度は低いです。早めに歯科医療機関を受診するようにします。



上顎永久前歯の重度の破折



赤い部分が神経
神経（歯髄）が出ているため、歯髄処置が必要である

歯が欠けて神経（歯髄）まで達するような重度の場合は、強い痛みや歯肉の腫れなどを引き起こすことが多いので、できるだけ早めに歯科医療機関を受診しての処置が必要です。



抜けていないが変位や位置移動があるときは学校歯科医又は、かかりつけ歯科医に緊急連絡。

一番大切なことは「慌てないで冷静になって対処する」ことです。



完全に抜けているときは、脱落した歯が保存可能か否かは、処置までの時間が大きく影響しますので、できるだけ早く学校歯科医又は、かかりつけ歯科医の診療所へ連絡してください。

抜けた歯は、きれいに洗うことは避けて、根の部分は触らずに、乾燥をさせずに（保存液か牛乳につけて）持っていくことが重要です。

保存液も牛乳もないときは、抜けた歯を口に含んで（歯と唇の間のところ）歯科医院へ。小さな子供は飲み込んでしまう危険性がありますので、あまりお勧めできませんが、応急の対応として覚えておいてください。

歯8020テレビ

歯とお口の情報番組！



差し歯が取れた



永久歯のケガ



乳歯のケガ